

## 2 給水装置担当

### 1. メーターユニットの施工について

- ・ ポリエチレン管を圧着施工する場合、施工後に LA ロングソケット、MC ロングユニオン、補修バンドで圧着箇所を管防護してください。
- ・ 給水装置工事申請図面に管防護することを明示してください。
- ・ 圧着施工および管防護設置の状況写真をしゅん工時に提出してください。

### 2. 第一バルブについて

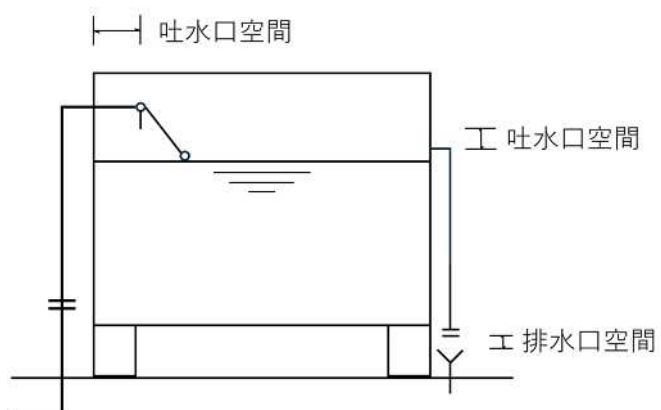
- ・ 原則、第一バルブを設置しないようにしてください。（集合住宅の共用管は、対象外）
- ・ 敷地境界と建物が近く、メーターボックスを設置できない場合のみ、第一バルブ設置を認めます。
- ・ 第一バルブを使用したい場合、申請前に営業課と協議してください。
- ・ やむを得ず第一バルブを設置する場合、第一バルブからメーターまでの給水管を引込管と同じ材料で施工してください。
- ・ メーターの向きを変えて設置する場合はロングエルボを使用し、図面に表記してください。

### 3. 図面について

- ・ 建物との離隔はすべて記載してください。
- ・ しゅん工時に提出する写真には建物との離隔がわかる写真を最低一か所提出してください。
- ・ 位置変更で分岐停止しないときは理由を図面に記載してください。（権利のみのため分岐停止無し、支分のため分岐停止無し等）
- ・ 社内検査済みであることは、工事しゅん工検査申請書の備考欄に記入し、竣工図面に記載しないでください。
- ・ 添付資料 2-1-1 の審査ポイントの確認をお願いします。

### 4. 受水槽について

- ・ 受水槽の有効容量が計画一日使用水量の 4/10～6/10 内であることを記載してください。
- ・ 有効容量とは受水槽の最高水位から最低水位の間に貯留される実際の貯水容量のことです。
- ・ 計画一日使用水量が 100 m<sup>3</sup>を超える場合は夜間給水になります。
- ・ 夜間給水の場合は受水槽の有効容量が計画一日使用水量の 7/10 程度であることを記載してください。
- ・ 計画一日使用水量を算定するにあたり、類似施設の使用量を参考にしてください。
- ・ 吐水口空間、排水口空間を記載してください。
- ・ しゅん工時に受水槽調査票を提出してください。



計画一日使用水量 = a

計画一日使用水量  $\times 4/10 = b$

計画一日使用水量  $\times 6/10 = c$

有効容量 = d

$b \leq \text{有効容量} \leq c$

夜間給水の場合

計画一日使用水量 = a

計画一日使用水量  $\times 7/10 = b$

審査ポイント	
給水	
No. 1	
1	平屋建ての場合「平屋建て」、二階建て住宅で二階に給水器具がない場合「二階器具なし」と記入されているか
2	隣栓番Aの位置及び栓番は合っているか
3	オフセットAC・BCの数値が逆になっていないか
4	区画整理地内の場合、設置場所に底地と仮換地が記入されているか
5	排水図面と器具の配置は合っているか
6	メーター口径及びメーターユニットのメーカー名(日邦、前澤、タブチなど略称も可)が記入されているか
7	本管から末端器具の管延長が50m以上の場合及び1ランク上の口径の総器具数(φ20ならφ25の器具数13栓ただし給湯器、散水栓を含まず)を超えると、水理計算書が添付されているか
8	アパート等で複数のメーターが設置されている場合、メーターの位置は基準(1F右側2F左側)に合っているか
9	既設建物、既設器具等及び申請以外のものは破線で記入されているか
10	敷地内に権利のある栓番は全て記入されているか
11	増径の場合「φ○からφ○に増径」、減径の場合「φ○からφ○に減径」が記入されているか また減径の場合、特記事項欄に減径の一筆が記入されているか
12	位置変更の場合、平面図に元位置にア、変更位置にイが記入されているか、また「アからイへ位置変更」が記入されているか 元位置の閉栓箇所位置図、元位置がアパート等の支分の場合は「支分につき分岐停止なし、権利のみのため分岐停止無し等」が記入されているか
13	第一バルブ(φ20、φ25)を設置する場合、盗水防止型を使っているか
14	図面が複数枚になる場合、No.が記入されているか
15	既設配管を止めて配管を切り替える場合、キャップ止めは死に水が出るため、エルボまたは直管等で施工すること
16	特殊器具を設置する場合、逆止弁・バルブの設置、器具承認証・承認図が添付されているか。また私設メーターを設置する場合も承認図が添付されているか
17	受水槽の吐水口空間AB、排水口空間は基準以上か、また防虫網は設置されているか

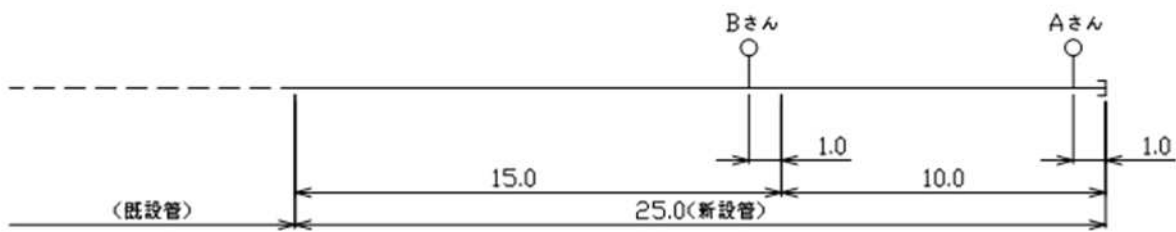
18	受水槽容量は適正か(使用水量の4/10から6/10、夜間給水の場合7/10程度)
給水	
	No.2
19	受水槽のオーバーフロー管口径は給水管口径の1.4倍以上か
20	断面図は南北道路は南から、東西道路は東からの断面図になっているか
21	位置図はわかりやすいか
22	メーター器を敷地内で曲げて設置する場合、P用ロングエルボを使用しているか
23	浄水器 I 型を設置する場合は、誓約書、仕様書、認証登録証が添付されているか
24	<p>浄水器を屋外配管に直接設置する場合は、手前にバルブ・散水栓が設置されているか。また誓約書、仕様書、認証登録証が添付されているか</p> <p>軟水器、微細気泡発生装置を設置する場合は、バルブ・散水栓は不要。ただし、認証登録証、図面は添付する</p>
25	
26	
27	
28	
29	
30	

## 4 承認工事担当

### 5. 承認工事補助金（水道）の申請について

- ・ 給水を受けようとする土地の前の道路に配水管がない場合は、配水管の新設工事が必要であり、申請時に補助金の対象となるか営業課に確認してください。
- ・ 補助金の対象は給水装置の新設（又は改造）の申請者が所有・居住する専用住宅（店舗併用住宅）で水道メーターの口径が 20mm以下であることが条件になります。
- ・ 補助金の対象となる場合は、補助金交付対象の要件として、承認工事申込書に建築確認済証を添付してください。
- ・ 2 人以上で同時に承認工事申込みをする場合は、配水管布設工事同時申込代表者選定届を添付し代表者名で申請してください。
- ・ 2 人以上で同時申請した場合の補助金の計算例は下記のとおりとなります。申請時に営業課に確認してください。

例) A さん B さんの 2 人が配水管を 25m（舗装道路）延伸する場合の補助金の算出



補助金の総額 :  $25 \times 9,000 \text{ 円/m} \times 1.1 = \underline{247,500 \text{ 円}}$

A さん、B さんの負担分 : 15m分

A さんの単独負担分 : 10m分

A さんの補助金 :  $(247,500 \times 15 / 25 \times 1/2) + (247,500 \times 10 / 25) = \underline{173,250 \text{ 円}}$

B さんの補助金 :  $247,500 \times 15 / 25 \times 1/2 = \underline{74,250 \text{ 円}}$

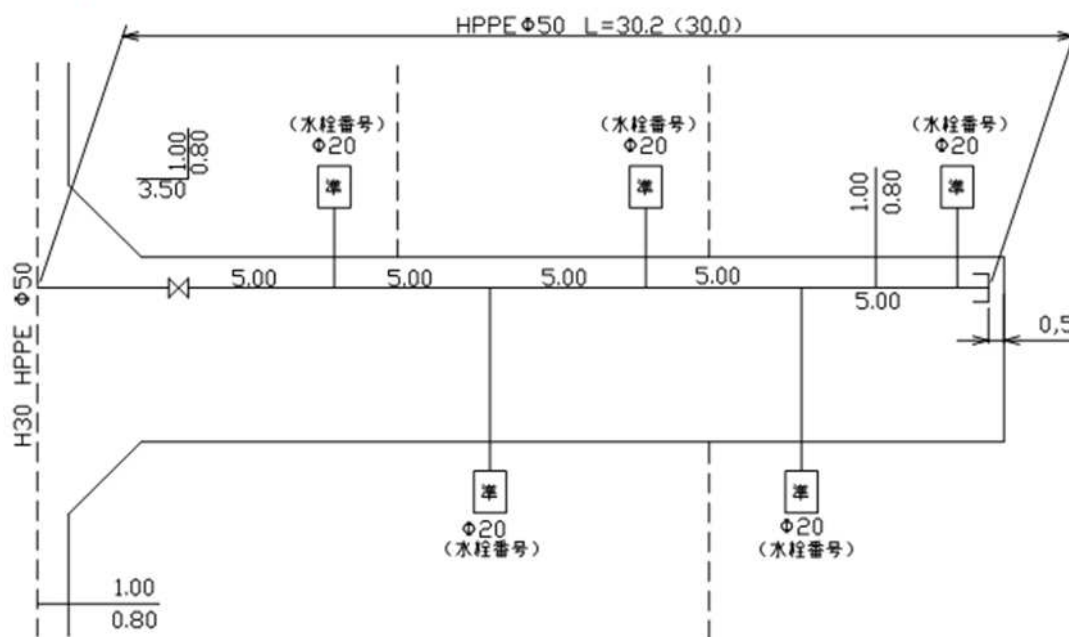
※例えば、A さんが準備工の場合は A さんに補助金は支払われず、B さんに 74,250 円支払われます。

### 6. 品質管理（水道）について

- ・ 施工計画書に記載した配管技能者が配管作業を実施してください。
- ・ EF 接合管理は確実にバーコードを読み取り、配管図に接合番号を記入し、融着履歴データの累積融着番号と対応できるように整理してください。
- ・ 舗装復旧は敷均し温度の測定（110℃以上）し写真を記録してください。

## 7. 承認工事（水道）の図面について

- 承認工事のしゅん工図は、水道台帳図、下水道台帳図にそれぞれ反映されるため、見やすく正確な情報を記載してください。
- 給水分岐間の距離を図面に落とし込むようお願いします。
- 管路末端から道路境界までの距離を明示してください。
- バルブ、仕切弁の距離、出幅、深度および配水管の出幅、深度はしゅん工写真と一致するよう明示してください。



## 8. その他

- 承認工事申込みは工期を考慮し早めに提出してください。工事の内容によっては、審査に期間を要するため、工事着手の最低 1 カ月前には提出してください。なお、給水装置工事申込書が提出されてから受付となりますので、ご注意ください。
- 断水計画は、1 週間前までに局ホームページに掲載するため、早めに提出してください。また、官公庁の休日・休前日は原則行わないでください。
- 補助金の支払いや事務手数料の還付や追加徴収が発生する場合があるため、申請者の債権者登録申請書を早めに提出してください。
- 開発や位置指定協議は、水道、下水両方ある場合は、3 部提出してください。